

令和8年 8月13日
香芝市教育委員会

「香芝市の学校の適正規模・適正配置の基準について」に係る
答申を受けての見解について

令和6年7月26日付けで香芝市望ましい学校環境検討委員会（以下「検討委員会」という。）に諮問した学校再編方針の具体化の検討及び香芝市施設等長寿命化計画（個別施設計画）の調査審議について、令和8年3月31日付けで検討委員会から「香芝市の学校の適正規模・適正配置の基準について」として答申（以下「本答申」という。）を受けた。

一方で、学校の再編を含む学校環境の在り方（以下「学校再編等」という。）については、学校における児童生徒の学ぶ環境のみならず、通学距離の状況や本市の財政事情等を考慮するとともに、地域社会に影響を与えるものであることにも留意して具体的に決定していくべきものである。

そのため、教育委員会としては、本答申を今後の教育行政を推進する上での重要な参考資料として位置付け、その内容を十分に尊重するものであるが、具体的な学校再編等については、下記のとおり、慎重に検討して決定していくものとする。

記

具体的な学校再編等を決定するに当たっては、本答申の内容のほか、主として次の事項を留意する。

- 1 本市及び各校区における将来の児童生徒数の推移（都市計画を始めとする本市における行政施策の状況を踏まえた内容を含む。）
- 2 学校を再編した場合における通学距離その他の児童生徒の環境の変化の状況

以 上